

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	追加型投信／海外／株式
信託期間	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	追加型投信／国内／債券
運用方針	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	約10年間（2012年3月22日～2022年3月18日）
主投資対象	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンドの受益証券
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	イ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券 ロ. 円建ての債券
運用方法	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、オーストラリアの金融商品取引所上場株式等（不動産投資信託証券を含みます。）の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。 ②マザーファンドにおけるポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。 ハ. 株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。 ③マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	①マザーファンドの受益証券および円建ての債券を中心に投資することにより、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
組入制限	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	・マザーファンド組入上限比率および株式組入上限比率は無制限
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10%以下
配分方針	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	配分対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額配分し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して配分金額を決定します。ただし、配分対象額が少額の場合には、配分を行なわないことがあります。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	配分対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して配分金額を決定します。ただし、配分対象額が少額の場合には、配分を行なわないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・ マネー・ポートフォリオ

## 運用報告書（全体版） 第13期 （決算日 2018年9月21日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド」および「ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ」は、このたび、第13期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3817>  
<3818>

オーストラリア高配当株

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
9 期末 (2016年 9 月21日)	10,609	140	△ 5.5	10,976	△ 6.9	88.2	2.8	7.4	4,644
10 期末 (2017年 3 月21日)	11,873	1,230	23.5	13,518	23.2	92.8	3.6	1.5	4,548
11 期末 (2017年 9 月21日)	12,099	200	3.6	13,862	2.5	79.9	2.6	15.3	4,495
12 期末 (2018年 3 月22日)	11,003	230	△ 7.2	13,144	△ 5.2	81.0	2.9	13.2	3,768
13 期末 (2018年 9 月21日)	11,241	180	3.8	13,640	3.8	80.8	3.1	13.2	3,580

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

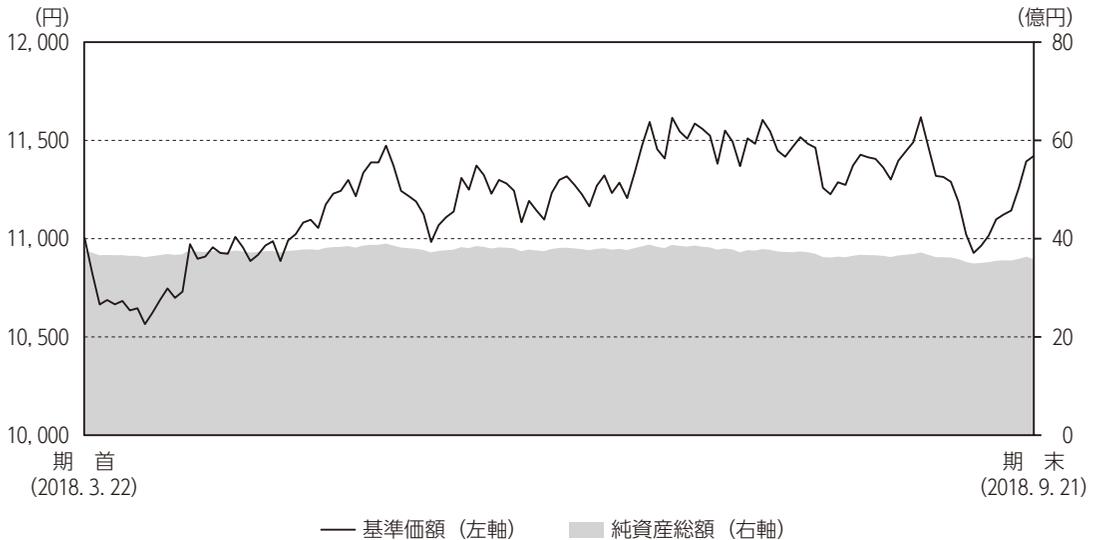
(注 2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注 4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。  
 (注 5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■基準価額・騰落率

期首：11,003円

期末：11,241円（分配金180円）

騰落率：3.8%（分配金込み）

#### ■基準価額の主な変動要因

堅調なコモディティ（商品）価格や企業業績の改善期待などを背景に、オーストラリア株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)			
(期 首) 2018年 3月22日	円	%			%	%	%
	11,003	—	13,144	—	81.0	2.9	13.2
3 月末	10,635	△ 3.3	12,662	△ 3.7	80.2	2.9	13.5
4 月末	10,886	△ 1.1	13,146	0.0	80.4	2.9	13.5
5 月末	11,069	0.6	13,268	0.9	78.0	2.9	14.0
6 月末	11,270	2.4	13,581	3.3	78.4	2.9	13.6
7 月末	11,483	4.4	13,896	5.7	80.8	3.0	13.7
8 月末	11,467	4.2	13,781	4.8	79.6	3.1	13.7
(期 末) 2018年 9月21日	11,421	3.8	13,640	3.8	80.8	3.1	13.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 21)

**■ オーストラリア株式市況**

オーストラリア株式市況は、期首から2018年4月前半にかけて、米国トランプ政権の保護主義的な貿易政策への懸念が高まり、下落しました。4月前半から5月半ばにかけて、米中間での貿易政策の協議が進展すると期待感などから投資家心理が改善したことや、鉄鉱石や原油価格の上昇を受けてエネルギーセクターや素材セクターが上昇したことなどにより、堅調に推移しました。5月後半には、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格の下落を受けて軟調に推移する局面もありましたが、6月以降は、米中間の貿易摩擦への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、アジア各国の株式市場が下落する中で、相対的に安定感のあるオーストラリア株式市場に注目が集まり、上昇傾向となりました。

**■ 為替相場**

期首から2018年6月前半にかけて、好調な世界経済や堅調なコモディティ価格などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは対円で上昇しました。6月後半から期末にかけては、トルコ・リラが急落するなど新興国を中心に投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落しました。期を通しては、豪ドル円はおおむね横ばいとなりました。

**前期における「今後の運用方針」****■ 当ファンド**

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

**■ ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド**

当ファンドでは、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

## ポートフォリオについて

(2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 21)

### 当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

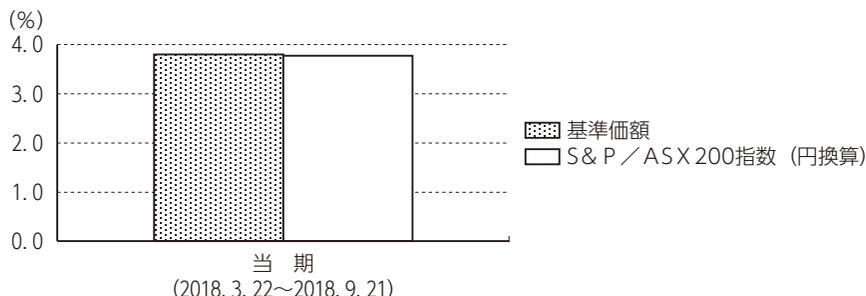
### ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

グローバルな事業ネットワークを持ち、底堅い利益成長が見込まれた大手証券会社 MACQUARIE GROUP LTD (金融)、中小企業向けの貸し出しに強みを持ち、構造改革の進展が期待された大手銀行 NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを中心的な事業とし、アジアにもネットワークを持つ大手銀行 AUST AND NZ BANKING GROUP (金融)、高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを主な事業とし、優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行 WESTPAC BANKING CORP (金融) などを高位に組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は180円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2018年3月23日 ～2018年9月21日	
当期分配金（税込み）	(円)	180
対基準価額比率	(%)	1.58
当期の収益	(円)	180
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,314

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	224.70円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	842.78
(d) 分配準備積立金	2,426.98
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,494.47
(f) 分配金	180.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,314.47

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 3. 23~2018. 9. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	91円	0.810%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,202円です。
( 投 信 会 社 )	(42)	(0.378)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(45)	(0.405)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 銀 行 )	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	9	0.076	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	(8)	(0.067)	
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	(0)	(0.000)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(1)	(0.009)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	5	0.041	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(4)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	104	0.927	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	8,585	16,200	187,478	373,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,016,014千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,992,425千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.33

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	1,933,808	1,754,915	3,545,631

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	3,545,631	96.6
コール・ローン等、その他	125,465	3.4
投資信託財産総額	3,671,097	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝82.12円です。

(注3) ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,570,094千円)の投資信託財産総額(3,590,607千円)に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,671,097,439円
コール・ローン等	121,465,507
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド(評価額)	3,545,631,932
未収入金	4,000,000
(B) 負債	91,022,597
未払収益分配金	57,327,799
未払解約金	3,242,082
未払信託報酬	30,350,732
その他未払費用	101,984
(C) 純資産総額(A-B)	3,580,074,842
元本	3,184,877,777
次期繰越損益金	395,197,065
(D) 受益権総口数	3,184,877,777口
1万口当り基準価額(C/D)	11,241円

\* 期首における元本額は3,424,952,041円、当期中における追加設定元本額は16,420,796円、同解約元本額は256,495,060円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,241円です。

# ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

## ■損益の状況

当期 自2018年3月23日 至2018年9月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,732円
受取利息	303
支払利息	△ 9,035
(B) 有価証券売買損益	163,599,542
売買益	172,390,936
売買損	△ 8,791,394
(C) 信託報酬等	△ 30,468,455
(D) 当期損益金 (A+B+C)	133,122,355
(E) 前期繰越損益金	112,437,466
(F) 追加信託差損益金	206,965,043
(配当等相当額)	( 268,416,411)
(売買損益相当額)	(△ 61,451,368)
(G) 合計 (D+E+F)	452,524,864
(H) 収益分配金	△ 57,327,799
次期繰越損益金 (G+H)	395,197,065
追加信託差損益金	206,965,043
(配当等相当額)	( 268,416,411)
(売買損益相当額)	(△ 61,451,368)
分配準備積立金	787,202,283
繰越損益金	△ 598,970,261

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	71,565,979円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	268,416,411
(d) 分配準備積立金	772,964,103
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,112,946,493
(f) 分配金	57,327,799
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,055,618,694
(h) 受益権総口数	3,184,877,777口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	180円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、9月21日現在の基準価額（1万口当り11,241円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

## 運用報告書 第13期 (決算日 2018年9月21日)

(計算期間 2018年3月23日～2018年9月21日)

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券）
運用方法	<p>①主として、オーストラリアの金融商品取引所上場株式等（不動産投資信託証券を含みません。）の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。</p> <p>ハ. 株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

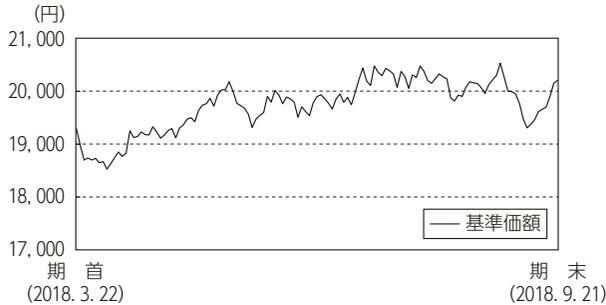
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P/ASX200指数 (円換算)		株式 組入比率	株式先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	%	(参考指数)	%			
(期首)2018年3月22日	19,292	—	13,144	—	81.8	2.9	13.3
3月末	18,645	△ 3.4	12,662	△ 3.7	81.0	2.9	13.6
4月末	19,115	△ 0.9	13,146	0.0	81.2	2.9	13.7
5月末	19,469	0.9	13,268	0.9	78.8	3.0	14.1
6月末	19,852	2.9	13,581	3.3	79.2	3.0	13.7
7月末	20,259	5.0	13,896	5.7	81.5	3.1	13.8
8月末	20,260	5.0	13,781	4.8	80.4	3.1	13.8
(期末)2018年9月21日	20,204	4.7	13,640	3.8	81.6	3.2	13.4

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,292円 期末：20,204円 騰落率：4.7%

【基準価額の主な変動要因】

堅調なコモディティ (商品) 価格や企業業績の改善期待などを背景に、オーストラリア株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2018年4月前半にかけて、米国トランプ政権の保護主義的な貿易政策への懸念が高まり、下落しました。4月前半から5月半ばにかけて、米中間での貿易政策の協議が進捗するとの期待感などから投資家心理が改善したことや、鉄鉱石や原油価格の上昇を受けてエネルギーセクターや素材セクターが上昇したことなどにより、堅調に推移しました。5月後半には、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格の下落を受けて軟調に推移する局面もありましたが、6月以降は、米中間の貿易摩擦への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、アジア各国の株式市場が下落する中で、相対的に安定感のあるオーストラリア株式市場に注目が集まり、上昇傾向となりました。

○為替相場

期首から2018年6月前半にかけて、好調な世界経済や堅調なコモディティ価格などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは対円で上昇しました。6月後半から期末にかけては、トルコ・リラが急落するなど新興国を中心に投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落しました。期を通しては、豪ドル円はおおむね横ばいとなりました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドでは、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

◆ポートフォリオについて

グローバルな事業ネットワークを持ち、底堅い利益成長が見込まれた大手証券会社 MACQUARIE GROUP LTD (金融)、中小企業向けの貸し出しに強みを持ち、構造改革の進展が期待された大手銀行 NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを中心的な事業とし、アジアにもネットワークを持つ大手銀行 AUST AND NZ BANKING GROUP (金融)、高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを主な事業とし、優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行 WESTPAC BANKING CORP (金融) などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

# ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	15円 (13)
(先物・オプション)	(0)
(投資信託証券)	(2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	8 (6)
(その他)	(1)
合 計	23

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

### (1)株 式

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

外 国	オーストラリア	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		9,582.14	5,058	8,214.89	7,392
		(1,230.17)	( 8)		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### (1)株 式

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL (オーストラリア)	10	61,119	6,111	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL (オーストラリア)	12	70,723	5,893
BLUESCOPE STEEL LTD (オーストラリア)	39	56,928	1,459	ATLAS ARTERIA (オーストラリア)	105	55,653	530
INSURANCE AUSTRALIA GROUP (オーストラリア)	80	53,017	662	QBE INSURANCE GROUP LTD (オーストラリア)	57	46,594	817
BHP BILLITON LIMITED (オーストラリア)	19	51,570	2,714	FORTESCUE METALS GROUP LTD (オーストラリア)	120	42,527	354
ALUMINA LTD (オーストラリア)	190	41,744	219	WOODSIDE PETROLEUM LTD (オーストラリア)	15.5	40,380	2,605
MINERAL RESOURCES LTD (オーストラリア)	16	21,915	1,369	OZ MINERALS LTD (オーストラリア)	50	38,586	771
APPEN LTD (オーストラリア)	26	20,544	790	RIO TINTO LTD (オーストラリア)	5.5	36,443	6,626
TELSTRA CORP LTD (オーストラリア)	70	18,280	261	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (オーストラリア)	15	35,569	2,371
TREASURY WINE ESTATES LTD (オーストラリア)	12	17,448	1,454	SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	121.567	33,562	276
GLOBAL CONSTRUCTION SERVICES (オーストラリア)	200	11,567	57	AMCOR LIMITED (オーストラリア)	28	32,075	1,145

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2)投資信託証券

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

外 国	オーストラリア	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		156.368	405	327.786	1,221
		( 7.989)	( 9)	( —)	( —)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## (3)先物取引の種類別取引状況

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
	百万円	百万円	百万円	百万円
外国 株式先物取引	223	225	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
FOLKESTONE EDUCATION TRUST (オーストラリア)	131.273	28,591	217	LENLEASE GROUP (オーストラリア)	15	25,300	1,686
ARENA REIT (オーストラリア)	25.095	4,482	178	SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	130	24,049	184
				APA GROUP (オーストラリア)	22	17,729	805
				CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	70.168	16,394	233
				AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND (オーストラリア)	90.618	16,175	178

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
百株	百株	千円	千円		
(オーストラリア)					
BHP BILLITON LIMITED	—	130	426	34,983	素材
ALUMINA LTD	2,100	4,000	1,080	88,689	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	367.27	212.27	780	64,078	エネルギー
OZ MINERALS LTD	500	—	—	—	素材
FORTESCUE METALS GROUP LTD	1,200	—	—	—	素材
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	323.58	323.58	348	28,591	金融
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	1,183.63	1,033.63	2,868	235,546	金融
WESTPAC BANKING CORP	1,017.01	897.01	2,519	206,917	金融
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,004.57	1,004.57	2,854	234,451	金融
RIO TINTO LTD	244.59	189.59	1,480	121,594	素材
AMICOR LIMITED	590	310	418	34,367	素材
NUFARM LTD	207.77	207.77	140	11,551	素材
AURIZON HOLDINGS LTD	1,000	1,000	424	34,818	資本財・サービス
WPP AU NZ LTD	3,671.39	3,671.39	324	26,682	一般消費財・サービス
AUSTRALIAN VINTAGE LTD	361.2	361.2	21	1,794	生活必需品
QMS MEDIA LTD	1,033.17	1,043.8	100	8,271	一般消費財・サービス
CREDIT CORP GROUP LTD	100	—	—	—	金融
GLOBAL CONSTRUCTION SERVICES	6,000	9,833.98	619	50,876	資本財・サービス
BRAVURA SOLUTIONS LTD	—	450	184	15,151	情報技術
APPEN LTD	—	130	171	14,091	情報技術
HANSEN TECHNOLOGIES LTD	—	300	99	8,154	情報技術
PRO MEDICUS LTD	—	164.78	180	14,817	ヘルスケア
Z ENERGY LTD	—	0.53	0	29	エネルギー
HARVEY NORMAN HOLDING-RIGHTS	—	29.41	2	205	一般消費財・サービス
TREASURY WINE ESTATES LTD	—	120	209	17,195	生活必需品
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	394.02	374.02	2,688	220,775	金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	996.42	426.42	469	38,519	金融
TELSTRA CORP LTD	2,700	3,400	1,067	87,671	電気通信サービス
SPARK NEW ZEALAND LTD	1,215.67	—	—	—	電気通信サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	157.35	157.35	138	11,345	一般消費財・サービス
MACQUARIE GROUP LTD	251.64	251.64	3,186	261,635	金融
BANK OF QUEENSLAND LTD	181.48	188.36	214	17,602	金融
CSL LTD	30	30	620	50,966	ヘルスケア

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
百株	百株	千円	千円			
WESFARMERS LTD	193.63	193.63	963	79,106	生活必需品	
BLUESCOPE STEEL LTD	—	390	652	53,612	素材	
SUNCORP GROUP LTD	1,260	1,260	1,818	149,308	金融	
BORAL LTD	1,550	1,050	714	58,633	素材	
ASX LTD	140	140	885	72,717	金融	
COMPUTERSHARE LTD	290	290	568	46,724	情報技術	
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	1,000	500	173	14,206	一般消費財・サービス	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	1,610	2,410	1,783	146,452	金融	
SONIC HEALTHCARE LTD	4.15	4.2	10	863	ヘルスケア	
CHALLENGER LTD	816.72	566.72	614	50,494	金融	
DOWNER EDI LTD	850	850	651	53,538	資本財・サービス	
JB HI-FI LTD	110	110	273	22,492	一般消費財・サービス	
AGL ENERGY LTD	110	—	—	—	公益事業	
ATLAS ARTERIA	1,381.26	331.26	230	18,960	資本財・サービス	
IOOF HOLDINGS LTD	470	470	383	31,456	金融	
MINERAL RESOURCES LTD	250	410	663	54,476	素材	
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	180	180	95	7,849	金融	
FLEXIGROUP LTD	813.62	813.62	159	13,129	金融	
CARDNO LTD	156.45	156.45	18	1,541	資本財・サービス	
THORN GROUP LTD	287.36	287.36	16	1,368	一般消費財・サービス	
NANOSONICS LTD	40.37	40.37	12	1,017	ヘルスケア	
ORORA LTD	763.9	763.9	253	20,826	素材	
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	700	700	177	14,543	金融	
RIDLEY CORP LTD	125.71	125.71	18	1,507	生活必需品	
NEARMAP LTD	800	800	142	11,661	資本財・サービス	
PACT GROUP HOLDINGS LTD	79.16	79.16	29	2,450	素材	
VILLA WORLD LTD	2,954.47	3,201.3	665	54,681	不動産	
ファンド	株数、金額	43,767.56	46,364.98	35,618	2,925,003	
合計	銘柄数<比率>	51銘柄	55銘柄	<81.6%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

## (2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円
<b>(オーストラリア)</b>				
LENDLEASE GROUP	84	69	1,317	108,225
FOLKESTONE EDUCATION TRUST	—	131.273	370	30,399
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	249.637	184.391	538	44,215
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	161.536	70.918	156	12,812
CENTURIA METROPOLITAN REIT	81.095	81.095	206	16,981
SYDNEY AIRPORT	235	235	1,640	134,701
APA GROUP	71.348	49.348	484	39,795
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	424.705	294.705	671	55,178
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	98.041	101.108	394	32,381
ARENA REIT	—	25.095	59	4,884
ファンド	口数、金額	1,405,362	1,241,933	5,839
合計	銘柄数<比率>	8銘柄	10銘柄	<13.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 SPI 200 INDEX (オーストラリア)	百万円 113	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2018年9月21日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 2,925,003	% 81.5
投資信託証券	479,576	13.4
コール・ローン等、その他	186,027	5.1
投資信託財産総額	3,590,607	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝82.12円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,570,094千円)の投資信託財産総額(3,590,607千円)に対する比率は、99.4%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月21日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,590,607,096円</b>
コール・ローン等	84,811,310
株式(評価額)	2,925,003,093
投資信託証券(評価額)	479,576,246
未取配当金	45,689,022
差入委託証拠金	55,527,425
<b>(B) 負債</b>	<b>4,540,415</b>
未払金	240,201
未払解約金	4,300,000
その他未払費用	214
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>3,586,066,681</b>
元本	1,774,914,239
次期繰越損益金	1,811,152,442
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,774,914,239口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	20,204円

\* 期首における元本額は1,954,539,106円、当期中における追加設定元本額は16,002,450円、同解約元本額は195,627,317円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア高配当株マザーファンド(毎月決算型) 19,998,414円、ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド1,754,915,825円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,204円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年3月23日 至2018年9月21日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>93,221,924円</b>
受取配当金	92,596,871
受取利息	628,173
支払利息	△ 3,120
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>76,802,905</b>
売買益	217,109,772
売買損	△ 140,306,867
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>5,400,457</b>
取引益	5,643,984
取引損	△ 243,527
<b>(D) その他費用</b>	<b>△ 1,439,759</b>
<b>(E) 当期損益金(A+B+C+D)</b>	<b>173,985,527</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>1,816,242,048</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 193,972,683</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>14,897,550</b>
<b>(I) 合計(E+F+G+H)</b>	<b>1,811,152,442</b>
次期繰越損益金(I)	1,811,152,442

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

マネー・ポートフォリオ

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入比率	純資産総額
	税分	込配	み金	期騰落中率		
	円		円		%	百万円
9 期末 (2016年 9 月21日)	10,003		0	△ 0.0	—	56
10 期末 (2017年 3 月21日)	10,000		0	△ 0.0	0.1	57
11 期末 (2017年 9 月21日)	9,996		0	△ 0.0	—	47
12 期末 (2018年 3 月22日)	9,993		0	△ 0.0	—	17
13 期末 (2018年 9 月21日)	9,988		0	△ 0.1	—	17

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

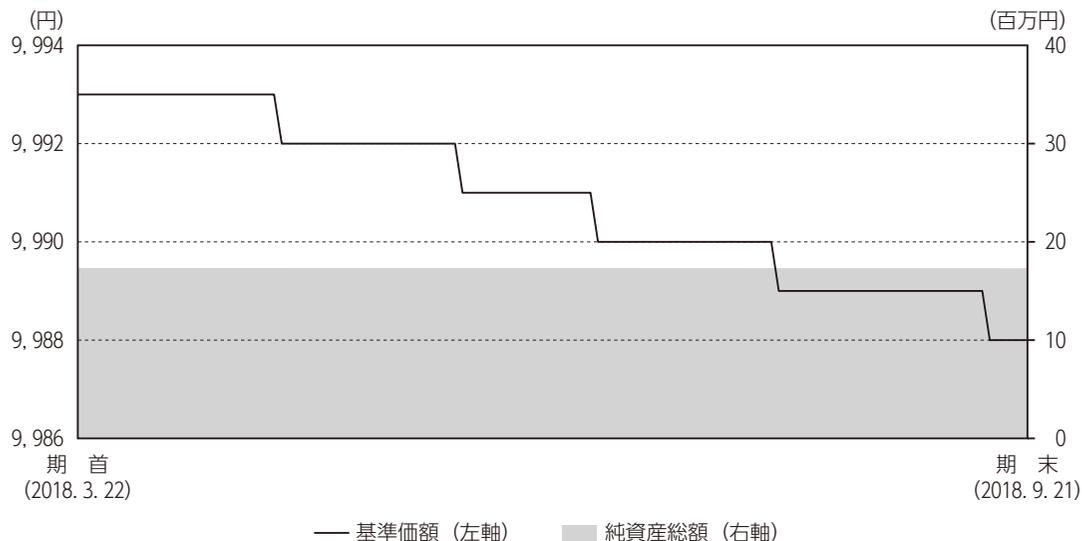
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割を持ったファンドであり、マザーファンドおよび短期金融資産による安定運用を行いません。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,993円

期末：9,988円

騰落率：△0.1%

#### ■ 基準価額の変動要因

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローンの利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比	債 率
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2018年 3月22日	9,993	—		—
3月末	9,993	0.0		—
4月末	9,993	0.0		—
5月末	9,992	△ 0.0		—
6月末	9,991	△ 0.0		—
7月末	9,990	△ 0.0		—
8月末	9,989	△ 0.0		—
(期 末) 2018年 9月21日	9,988	△ 0.1		—

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 21)

### 国内短期金融市況

期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

## 前期における「今後の運用方針」

### 当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 21)

### 当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

### ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2018年3月23日 ～2018年9月21日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	9

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

今後も低金利環境が継続した場合には、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落する可能性があります。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 3. 23~2018. 9. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,991円です。
( 投 信 会 社 )	(—)	(—)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(—)	(—)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 銀 行 )	(—)	(—)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.037	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	(4)	(0.036)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	4	0.037	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	5,110	5,112	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	12,126	17,236	17,239

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	17,239	99.5
コール・ローン等、その他	86	0.5
投資信託財産総額	17,326	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,326,497円
コール・ローン等	86,725
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	17,239,772
(B) 負債	183
その他未払費用	183
(C) 純資産総額(A-B)	17,326,314
元本	17,346,674
次期繰越損益金	△ 20,360
(D) 受益権総口数	17,346,674口
1万口当り基準価額(C/D)	9,988円

\* 期首における元本額は17,346,674円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,988円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,360円です。

■損益の状況

当期 自2018年3月23日 至2018年9月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 358円
受取利息	1
支払利息	△ 359
(B) 有価証券売買損益	△ 7,596
売買損	△ 7,596
(C) 信託報酬等	△ 1,126
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 9,080
(E) 前期繰越損益金	△ 11,962
(F) 追加信託差損益金	682
(配当等相当額)	( 16,393)
(売買損益相当額)	(△ 15,711)
(G) 合計(D+E+F)	△ 20,360
次期繰越損益金(G)	△ 20,360
追加信託差損益金	682
(配当等相当額)	( 16,393)
(売買損益相当額)	(△ 15,711)
分配準備積立金	146
繰越損益金	△ 21,188

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は23ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	16,393
(d) 分配準備積立金	146
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	16,539
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	16,539
(h) 受益権総口数	17,346,674口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年9月21日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を24ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2018年3月23日から2018年9月21日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
757 国庫短期証券 2018/8/13	50,000 千円		
731 国庫短期証券 2018/7/10	40,000 千円		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年9月21日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第6期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

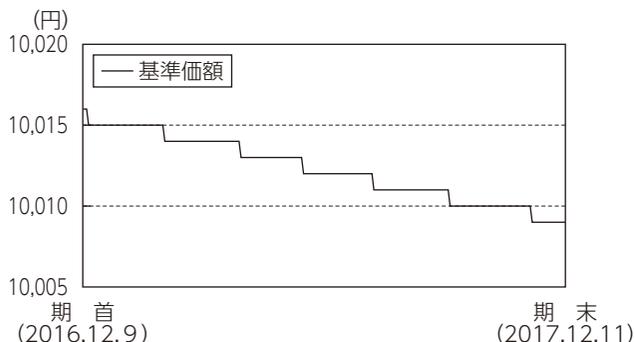
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月9日	円	%	%
	10,016	-	28.2
12月末	10,015	△0.0	-
2017年1月1月末	10,015	△0.0	31.1
2月末	10,014	△0.0	25.3
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	35.3
5月末	10,012	△0.0	5.1
6月末	10,012	△0.0	0.6
7月末	10,011	△0.0	0.1
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,010	△0.1	-
10月末	10,010	△0.1	-
11月末	10,009	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円 期末：10,009円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況  
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	33,310,870	(36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		当		期	
		買	付	売	付
銘	柄	金 額	金 額	柄	金 額
		千円	千円		千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100			
669	国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099			
657	国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055			
659	国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077			
652	国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020			
642	国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036			
644	国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088			
651	国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049			
660	国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027			
638	国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

## ■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

## ■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,415,714,754円
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	17,415,714,754
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	17,399,953,390口
1万口当り基準価額(C / D)	10,009円

\* 期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム-α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 3-858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 6-3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 7-828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 4-3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト12 Ver 2-549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 5-2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎

月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト11-3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト12-679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト13-1,287,713,056円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

## ■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,299,426円
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	△ 2,491
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	△ 174,287
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 8,476,204
(E) 前期繰越損益金	16,325,703
(F) 解約差損益金	△ 3,147,995
(G) 追加信託差損益金	11,059,860
(H) 合計(D + E + F + G)	15,761,364
次期繰越損益金(H)	15,761,364

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。